

共用品推進機構だより 2016年06月17日 (11)

目次

(52) 共用品推進機構関連記事

▽「長さや凹凸で識別できる紙幣／星川安之」

(53) 製品関連記事

▽「高齢者の手首負担軽く／幸和製作所」

(54) サービス関連記事

▽「バス車内の液晶 運賃表示大きく 遠州鉄道が設備刷新」

(55) その他、各種関連記事

▽「障害者、従業員の14% 食品トレイ最大手エフピコ」

(56) 新刊紹介

▽『親子で理解する発達障害進学・就労準備の進め方

高校・大学進学、そして就職へ子どもの自立・自活への不安を減らす本』

▽『福祉の世界で働く君へ贈る 江草安彦 40 の言葉』

▽『はじめて学ぶ生活支援

地域を支える人材を育てる生活支援の基本テキスト』

▽『色弱の子を持つすべての人へ 20人にひとりの遺伝子増補改訂版』

(52) 共用品推進機構関連記事

▼「長さや凹凸で識別できる紙幣／星川安之」

遠方への旅行から、近所への買い物まで、必ずといってよいほど持参する

モノはお金と財布。

目の不自由な人や暗い所でお札を確認する時、異なる金額の紙幣を持っていれば長さの違いで識別できますが、1種類しかない場合は比較することができません。

そのため、各紙幣の右下と左下には、それぞれの金額により触って識別できる浮き出た印が付いています。更に5000円札は、左下にあるホログラムのシールの部分が、四角になっているので触って判別することができます。

財布側にも工夫があります。お札を入れる部分が4ヵ所に分かれ、それぞれ凸点が1個から4個つき、その数で識別できるようになっています。

一昔前から財布には紙幣、硬貨だけでなく、銀行、健康保険証など、貴重なカード類も収納されるようになってきました。そのため、万が一、落としたり、なくしてしまったりすると、いくら治安の良い日本でも必ず出てくるとは限りません。様々な工夫がされてきた財布、今度の課題は「決してなくなるらない財布」でしょうか。

(エルダリープレス―シニアライフ版― 2016年6月号より抜粋)

(53) 製品関連記事

▼「高齢者の手首負担軽く／幸和製作所」

手首にやさしいシルバーカー「フィーナ」。手首の関節痛で悩む高齢者に向けた。まっすぐなハンドルと比べ押しやすいU字形ハンドルを採用。体の近くでハンドルグリップを握れるため押しやすく、姿勢もらく。このグリップは手前に少し傾斜させているので手首への負担がより和らぐという。

(日経MJ 6月12日13面より抜粋)

(54) サービス関連記事

▼「バス車内の液晶 運賃表示大きく 遠州鉄道が設備刷新」

静岡県西部で鉄道・バスを運行する遠州鉄道は2017～2018年にかけて、8億円を投じて、すべての路線バス車両の車内設備を刷新する。運賃表示器は2

割大きくして大きな文字や外国語を表示する高齢者や外国人観光客の利便性を高めて乗客増につなげる。

路線バス約 300 両の車内設備を 17 年から順次更新する。運賃表示器はデジタル数字を表示するだけの簡単なものから、文字や外国語などを使い様々な情報を表示できる 27 インチの液晶画面に切り替える。

浜松市のユニバーサル社会・男女共同参画推進課の協力を得て、数字は黒地に黄色で表示したり文字を大きくしたりし、高齢者にも見やすいよう配慮する。数件先までのバス停名を表示したり外国語で表示したりして利用しやすくする。

(日経MJ 6月17日9面より抜粋)

(55) その他、各種関連記事

▼「障害者、従業員の 14% 食品トレー最大手エフピコ」

トレー最大手のエフピコは多くの障害者を雇用している。集中力が高い点を生かし、回収品の選別や梱包のほか、製造の一部にも従事する。全雇用に占める障害者の比率は 2016 年 3 月末で 14.56%と極めて高い。健常者と障害者のコンビネーションは好業績も生んでいる。

(日経産業新聞 6月15日19面より抜粋)

(56) 新刊紹介

▼『親子で理解する発達障害進学・就労準備の進め方』

高校・大学進学、そして就職へ子どもの自立・自活への不安を減らす本』

発達障害の子どもの進学から就職へのアプローチまでわかりやすく解説。高校の選び方、就労に必要な生活スキルの身につけ方、自立自活へ向けた就労先の選び方など、保護者や本人が気になる項目を具体的にやさしく解説する。

監修：鈴木慶太（すずき・けいた）

発行：河出書房新社

本体価格：1400 円（税別）

ISBN : 978-4-309-24757-1

▼『福祉の世界で働く君へ贈る 江草安彦 40 の言葉』

福祉を目指す人に、"福祉の仕事を通じてどう生きるか"を教えてくれる言葉の数々。戦後、何もないところから福祉事業を始め、障害福祉分野、介護福祉分野を切り拓いた小児科医・江草安彦の歩みを、その言葉とともに紐解く。

編集：第一法規

発行：第一法規

本体価格：2000 円（税別）

ISBN : 978-4-474-05349-6

▼『はじめて学ぶ生活支援

地域を支える人材を育てる生活支援の基本テキスト』

生活支援サービス従事者や介護ボランティアを対象に、超高齢社会と介護・福祉について解説。生活支援のための知識・技術、ボランティア団体の作り方といった実践的な内容や事例もイラストを交えて説明する。

監修：長寿社会文化協会

発行：日本医療企画

本体価格：1300 円（税別）

ISBN : 978-4-86439-458-1

▼『色弱の子を持つすべての人へ 20 人にひとりの遺伝子増補改訂版』

色弱の人にはどう見えている？カラーユニバーサルデザインって？色弱のデザイナーが、豊富なシミュレーションと実践例で、色弱の基礎知識を誰にでもわかるように解説する。

著：栗田正樹（くりた・まさき）

監修：岡部正隆（おかべ・まさたか）

発行：北海道新聞社

本体価格：1574 円（税別）

ISBN : 978-4-89453-827-6

(編集後記)

各地から地震の情報が入る度に「自分が備えている食品や飲料等は十分であるか？」と自問自答しています。共用品推進機構が平成23年度に「災害時の防災グッズ～障害のある人が使う視点での調査報告」を行いました。当時の防災グッズやセットは、いざという時に使い方が分からなかったり、身体的特性によっては扱えないものもありました。また季節によっても、必要なものは違いますし、多くの被災された方の生の声からも本当に備えておきたいモノが見えてきます。今の時期や状況に合った災害グッズは定期的に見直す必要を改めて感じています。(森川美和)

『災害時の防災グッズ 障害のある人が使う視点での調査報告書』

http://www.kyoyohin.org/ja/research/pdf/bosaigoods_chosa_2011_2.pdf

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>